

熱海写真俳句撮詠物語

令和2年7月句会

優秀作・杉山榮一



ろうおう かわや
老翁へ応ふ口笛 かな

今年は長梅雨でいつまでもスッキリしない天気となっている。そんなある日うぐいすの鳴き声を聞いた。春の時期の艶のある元気でリズムカルな声とは異なり、張りもなく途切れたりしている。わが身を振り返るにつけ“老翁”という季語を思いだして一句。場所は何と厠（お手洗い）であったが、私もできる限り丁寧に口笛で応えた。さて“老翁”の声を聞き取ってくれたであろうか